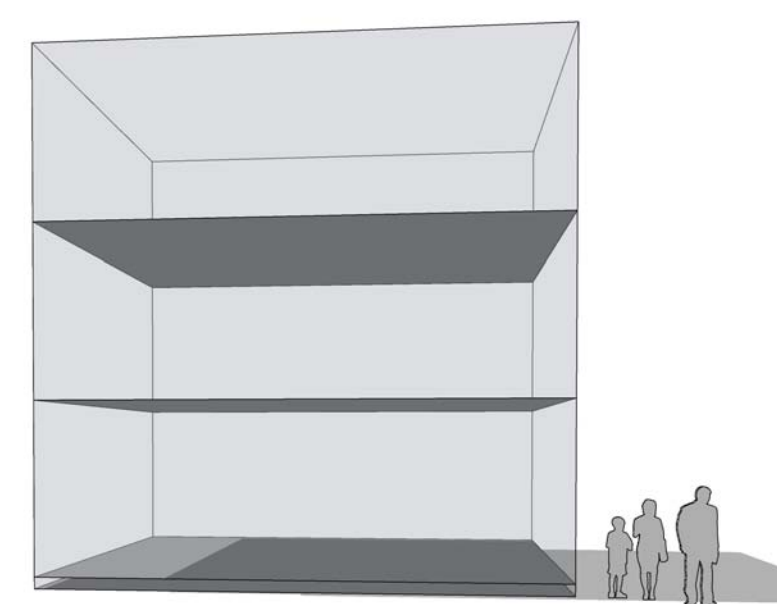
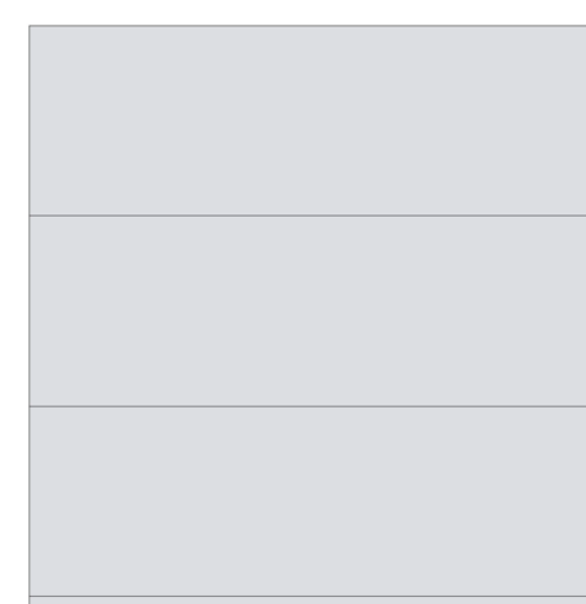
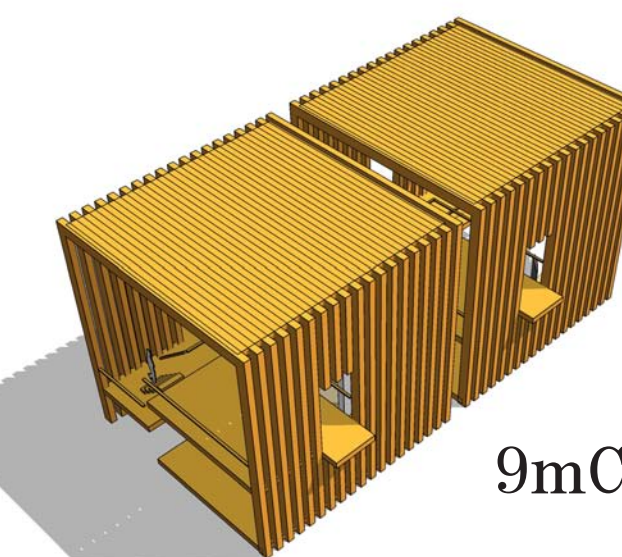
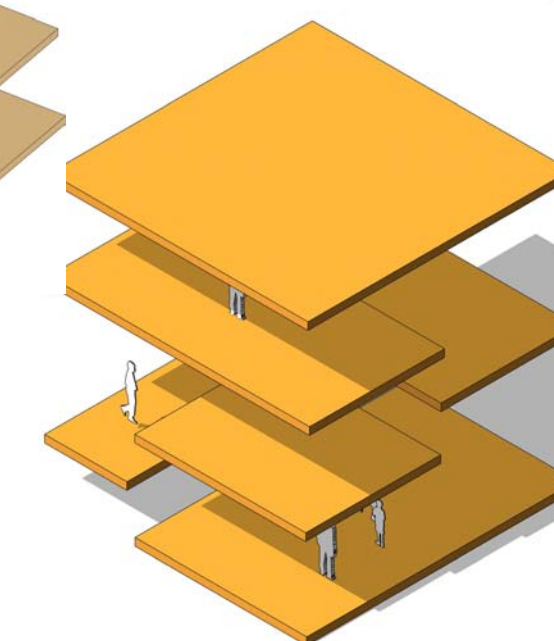
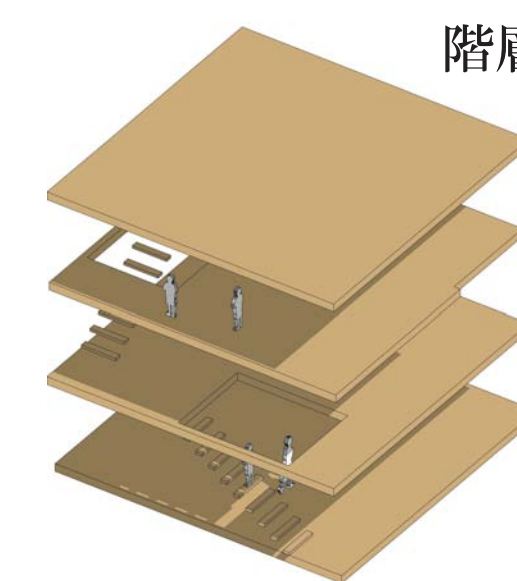


「木」で創る 9mCube(縦9m×横9m×高9m)のミュージアムの提案

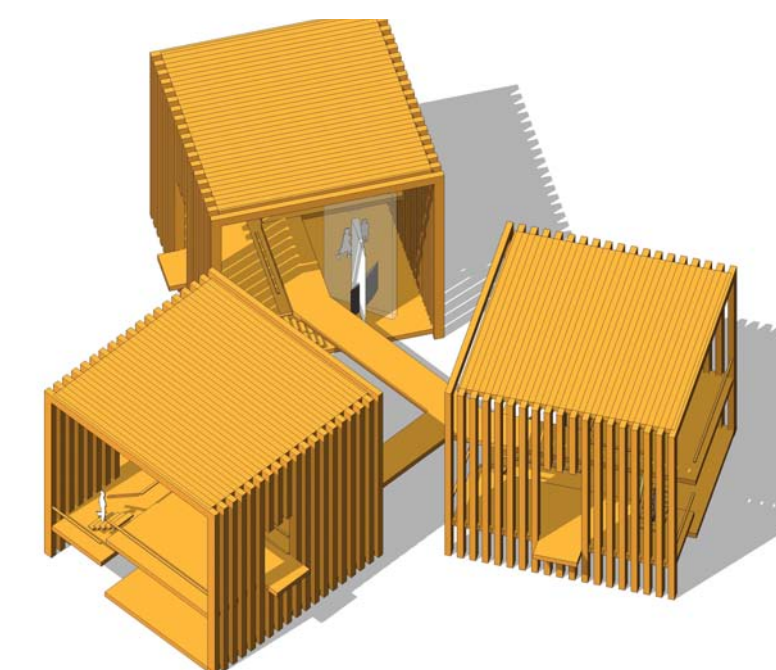
次の”あいちトリエンナーレ 2019”の会場となる堀川・中川運河沿いのフィールド・ミュージアムには、どこにでも設置可能な規模(9mCube)の temporary なミュージアムを、様々な場所で「木」で創る。「木」を使用することで再利用が可能となり、一般流通材レベルの木材や床等には CLT(直交集成版)を使用する。勿論、トリエンナーレ終了後も常設のミュージアムとして残すことも可能となる。



階層構成のパターン



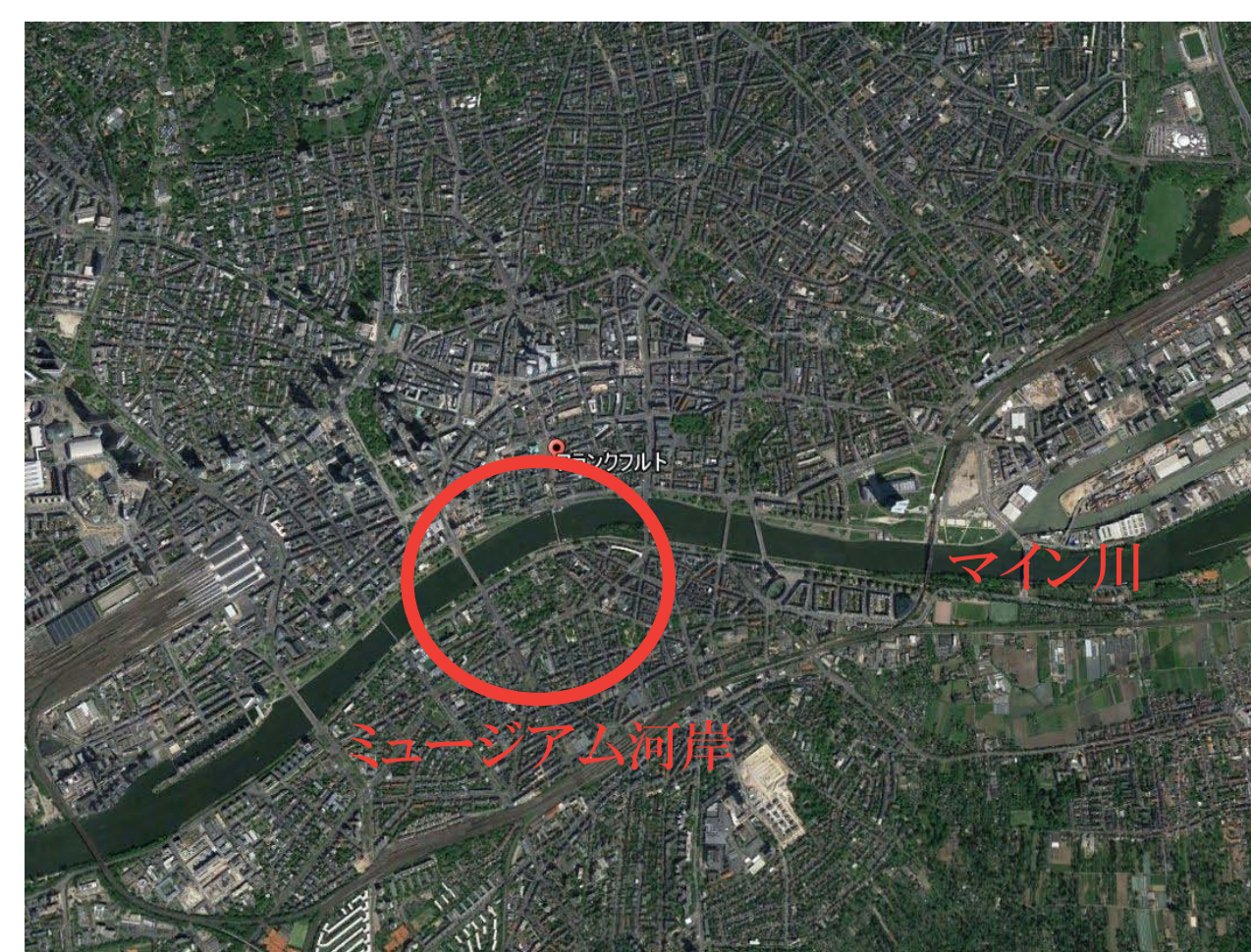
9mCubeの組み合わせ



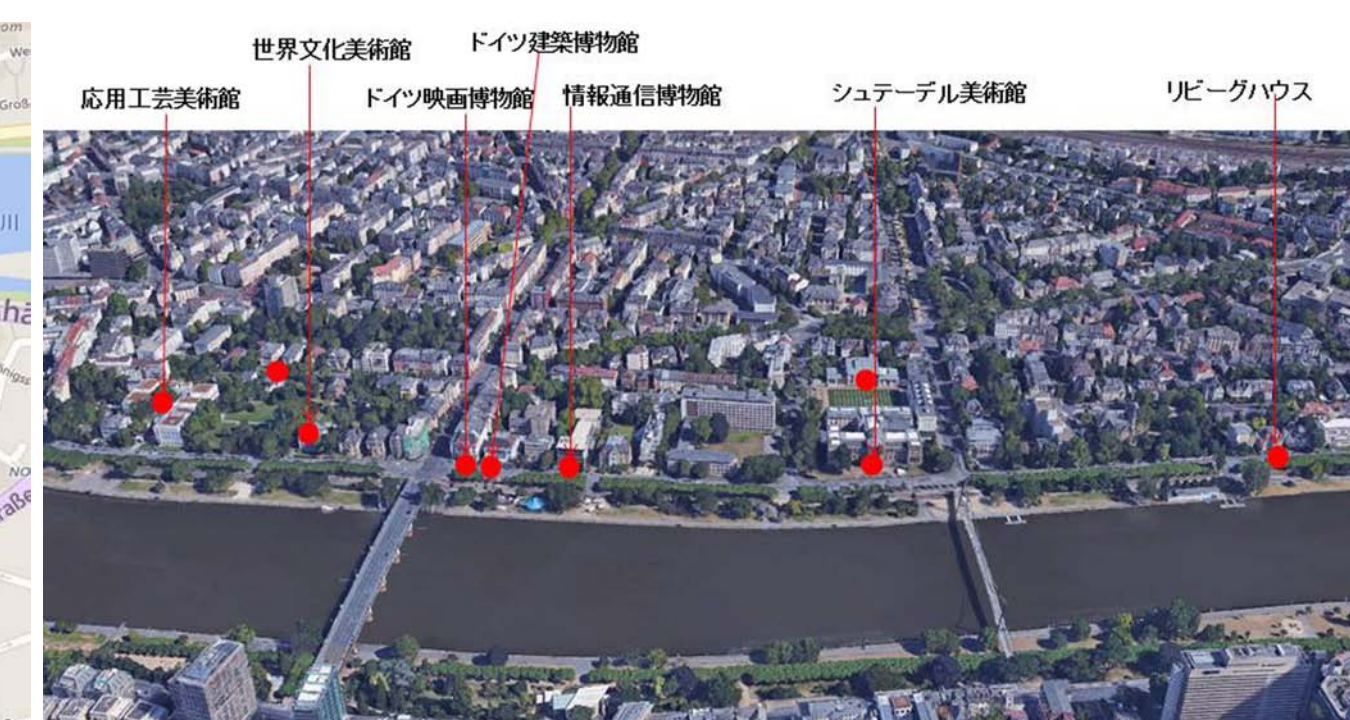
9mCubeの空間は、トリエンナーレの展示空間としては必ずしも広くないが、9mの高さを有効に活かすことで、また「木」で覆われた空間によりアーティストの今までとは異なる新たなパフォーマンスが期待できる。

水辺のミュージアム群の事例ーミュージアム河岸 (ムゼウムスウーファー Museumsufer)

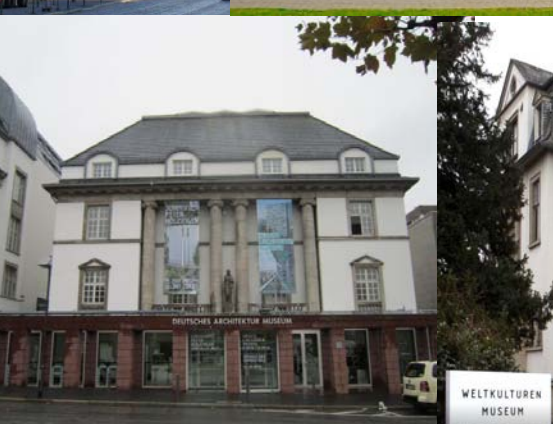
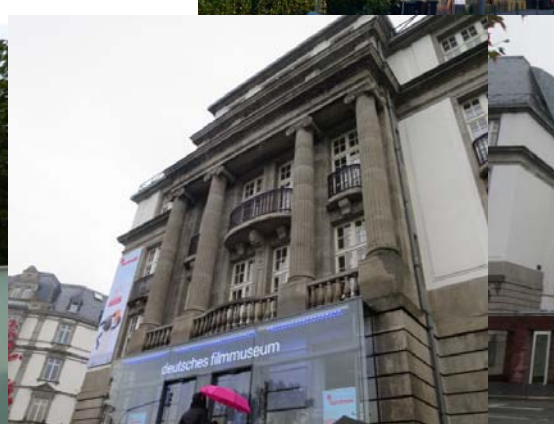
フランクフルトのメイン川沿いの南側(ザクセンハウゼン地区)には、ミュージアム河岸(ムゼウムスウーファー)と呼ばれる、13の全く異なる有名な美術館・博物館が並び、ドイツ・ヨーロッパの最重要博物館地区となっている。この河岸で8月最終週末に行われるムゼウムスウーファーフェスト(Museumsuferfest)では、多くの人で賑わう。



フランクフルト市内地図



応用工芸美術館・情報通信博物館・ドイツ映画博物館・ドイツ建築博物館・シュテッデル美術館等



フィールド・ミュージアム (Field Museum) の提案